

日本最古の医学全書

「医心方」事始

榎佐知子 著

宮廷医・丹波康頼(912~995年)が、有史以来9世紀までの漢訳された医書を集めて撰集・編纂し、984年に献上したのが「医心方」で、現存するわが国最古の医学全書であり、人間の心と体に関するあらゆる知識を結集させたもの。国宝「医心方」は全33巻。その出典は医書、仙書、本草書、養生書、鍼書、本草書、養生書、鍼の薬剤もあり、古代文化の交流が見えてくる。



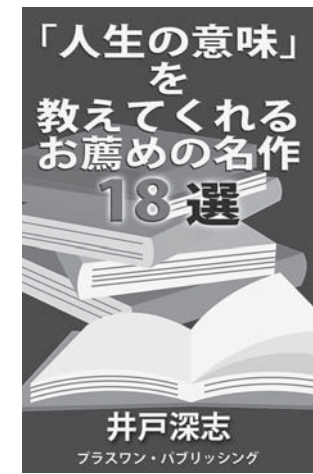
野の研究に、新たな視座と情報を提供する資料集であり、その上、現代を超越する医療もある。同書は、筑摩書房刊「医心方」30巻33冊(全訳精解)榎佐知子氏の序文に手を入れ、ダイジェスト版「医心方」として刊行されたもので、この一書で、読者が「医心方」の全体を俯瞰できるように工夫されている。A5判、380ページ。価格は4600円。(発行は藤原書店：03-5272-0301)

「人生の意味」を教えてください

お薦めの名作18選

井戸深志 著

アマゾンキンドルの文学理論のこの夏売れ筋、新着部門にて約3週間第1位を獲得した『人生の意味』を教えてください。お薦めの名作18選を紹介する。著者は井戸深志氏。この作品は小説の書評を書いたものだが、内容は名作(小説)の中での主人公の立場、心理などを現実の世界に置き換え、日常の生活の中で、また、社会人としてどのように考えるべきなのかなどの視点に立って、人生の中で何かに悩んでいる人々



向けて「人生の羅針盤」となるように分かりやすく書くことを心がけている。7月23日の発売後、その反響は大きく、アマゾンキンドルの文学理論の売れ筋、新着の二つの部門においては第1位を約3週間前後獲得していた。現在も上位に常にランキングされている作品である。読者からのレビューを読むと「紹介された本との出会いが、人生を変えらるきっかけになる」「新たな気づきを発見でき

図書紹介

患者さん対応のプロをめざす!

「選ばれる薬剤師」の接遇・マナー

村尾孝子(スマイル・ガーデン・薬剤師) 著

近年、薬剤師を取り巻く環境は大きく変化し、これまでは、薬局の中で処方箋を待っているだけで良かったのが、いっしょに薬局の外に出ていくことになり、



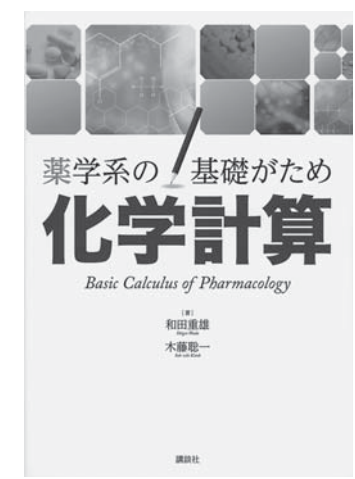
患者への服薬指導は▽患者との会話が弾むコツは▽かかりつけ薬剤師の同意書をもろうには▽医師へのスムーズな疑義照会の方法は――など、薬剤師の「こんなとき、どうする?」にQ&A形式で答えている。相談しやすい姿勢・分かりやすい説明・適切なアドバイスの方、場面別・患者別の対応法など、患者が安心・信頼してくれるコミュニケーションが身につく1冊といえる。A5判、192ページ。価格は1800円(税別)。(発行は同文館出版：03-3294-1802)

薬学系の基礎がため化学計算

和田重雄(奥羽大学薬学部) 著

木藤聡一(北陸大学薬学部)

同書は大学入学前、または入学して間もない学生を対象に、今までの異なる学習法や視点から高校の範囲を復習できるように、様々な工夫が施されている。



1講30分の学習を15回と補講3回を行うことによって、化学計算の基本的な知識とその活用法が知らぬ間に身に付くと共に、「学習法の改革」が行えるようになっていく。著者らは、いろいろなタイプの大学1年生を指導してきている。その中で、成績が伸びる典型例は、教員から言われた通りの回答法を、手を抜かず辛抱強く続けるタイプの学生だという。最初は腑に落ちなくとも、遠回りと思っても、信じ続けられる人だ。そのような学生は、いつの間にかスムーズに回答できるようになる。逆に、なかなか成績が伸びない学生は、何となく

問題を解く、自己流から抜けきれない、頭の中で考えすぎる、早い時期から手抜きをするタイプだ。同書で示した通りに学習を続けることが、実力向上の第一歩となる。そうすれば、高校化学が今まで以上に理解できるようになり、大学の授業も理解しやすくなる。その積み重ねが薬剤師国家試験などの合格につながっていくことが期待できる。B5判、104ページ。価格は1800円(税別)。(発行は講談社：03-5395-4415)